

三 金銭出納箇所が遠隔ナルカ又ハ特殊ノ事情ニ依リ小拂基金ノ設置ヲ必要トスル箇所長ハ事由ヲ具シ所轄收支箇所長及所轄金銭出納箇所長經由經理部長ノ承認ヲ受クベシ
 經理部長前項ノ承認ヲ爲シタル場合ハ經理部會計課長ニ於テ經理部會計課管掌「假拂金、諸口假拂金、小拂基金」勘定ヲ以テ支拂傳票ヲ發行シ基金ノ交付ヲ爲スベシ

四 小拂基金ハ所轄金銭出納箇所長ニ於テ管理シ經理部會計課長之ヲ統括スベシ

五 小拂基金ハ設置ノ目的以外ニ之ガ支出ヲ爲スコトヲ得ズ

六 小拂基金設置箇所長ヲ小拂基金保管責任者(以下保管責任者ト稱ス)トス

保管責任者ノ責任ハ金銭出納規程第九條ニ準ジ其ノ保管ニ係ル金銭ニ付一切ノ責ニ任ズ

七 保管責任者ハ小拂基金受拂簿(適宜帳簿)ヲ備ヘ基金受拂毎ニ之ヲ記帳シ其ノ收支ヲ明確ニ爲シ置クベシ

八 保管責任者小拂基金ヨリ支拂ヲ爲ス場合ハ金銭出納規程細則及說明第二十八號乃至第三十號ニ準ジテ處理シ關係證據ハ遲滞ナク之ヲ所轄收支箇所長ニ提出スベシ

九 收支箇所長ハ前條ノ證據ヲ詳查シタル後之ガ所要傳票ヲ作成ノ上所轄金銭出納箇所長ニ提出スベシ

所轄金銭出納箇所長ハ前項ノ傳票ニ依リ保管責任者ニ對シ基金ノ補充ヲ爲スベシ

十 小拂基金ノ減額又ハ廢止ハ所轄金銭出納箇所長之ヲ爲スコトヲ得

前項ニ依リ減額又ハ廢止ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク之ヲ經理部長ニ報告スベシ

十一 小拂基金トシテ設定セル釣銭準備金ハ本手續ニ準ジ取扱フベシ

第四節 身元保證金及貯金

○社員身元保證金規程 (昭和二三、三四號)

改正 昭和二三、六達甲第四四號 昭和四一、五達甲第四五號

社員身元保證金規程左ノ通制定シ昭和十二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

社員身元保證金規程

本 則

第一條 社員ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ社員身元保證金(以下身元保證金ト稱ス)ヲ積立ツルコトヲ要ス

第二條 身元保證金ハ會社ガ社員ニ對シテ有スル一切ノ債權ヲ擔保ス

第三條 社員ガ會社ニ損害ヲ被ラシメタル場合身元保證金ヲ以テ之ニ充當スルトキハ會社之ヲ指定ス

社員ハ身元保證金ノ讓渡、質入其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條 身元保證金ノ積立及拂戻ニ關スル事務ハ經理部會計課長(以下會計課長ト稱ス)之ヲ管理ス

會計課長ハ所屬社員ヲ指定シテ前項ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第五條 會計課長ハ身元保證金臺帳及身元保證金集計簿ヲ備ヘ身元保證金ノ收支ヲ明確ニ整理スベシ

細則及說明

一 會計課長及其ノ代理者ハ身元保證金事務ニ使用スル印鑑ヲ關係箇所ニ送付シ置クベシ

二 身元保證金臺帳(以下臺帳ト稱ス)(様式第一號)ニハ各自ノ積立額、拂戻額其ノ他必要

第六條 身元保證金ハ毎月左ノ定額ヲ積立ツルモノトス

一 傭員及雇員 三圓

(滿洲國人ヲ除ク)

二 職員月俸七十圓未滿者 五圓

同滿洲國人 四圓

三 職員月俸七十圓以上者 七圓

四 職員月俸百圓以上者 十圓

五 職員月俸百五十圓以上者 十五圓

六 職員月俸二百圓以上者 二十圓

前項ノ積立金額ハ申出ニ依リ増加スルコトヲ得但シ積立額ハ圓位以上トス

第七條 身元保證金ノ積立限度ハ左ノ通トス

一 日給社員及月給社員

日給三十日分又ハ月給額ノ四十倍

二 月俸社員月俸七十圓未滿者

月俸ノ六十倍

三 月俸社員月俸七十圓以上者

月俸ノ八十倍

四 月俸社員月俸百五十圓以上者

月俸ノ百倍

前項ノ限度ヲ超過シタル場合ト雖モ爾後ノ利息ハ之ヲ元金ニ繰入ルモノトス

第八條 身元保證金ハ毎月定期給與金中ヨリ其ノ月分ノ積立額ヲ引去ルモノトス

ナル事項ヲ記入シ其ノ受拂ヲ明カニスベシ
臺帳ハ金錢出納箇所(代理出納箇所ヲ含ム以下同ジ)別ニ區分シ更ニ社員ノ所屬別ニ區分整理スベシ

三 身元保證金集計簿(以下集計簿ト稱ス)(樣式第二號)ハ金錢出納箇所別ニ積立額及拂戻額ヲ記入整理スベシ

四 毎月末臺帳及集計簿面ノ受拂額及殘高ヲ集計シ總勘定元帳ノ決算額トノ符合ヲ確ムベシ

五 第七條所定ノ積立ヲ完納シタル者アルトキハ會計課長ハ完納通知書(樣式第三號)ニ依リ

之ヲ諸給與金收支責任者(以下收支責任者ト稱ス)ニ通知スベシ

六 第七條ノ積立限度ニ達シタル後登格又ハ昇給ニ依リ限度ニ變更ヲ生ジ更ニ積立ヲ開始スル場合ハ第九號ニ定ムル明細書ノ摘要欄ニ此ノ旨記入スベシ

七 第八條ノ定期給與金トハ俸給給料及之ト同日ニ支給スル諸手當ヲ謂フ

八 其ノ月分定期給與金ノ支拂額ガ積立額ニ達セザルトキハ不足額ハ現金ヲ以テ積立テシメ又ハ積立ヲ次月ニ繰越スコトヲ得

九 收支責任者ハ所屬社員ノ定期給與金ヲ請求スル際其ノ明細書中身元保證金欄ニ各自ノ積立額ヲ記載シテ出納責任者ニ提出スベシ

十 出納責任者前號ノ明細書ヲ受ケタルトキハ身元保證金ノ收納傳票ヲ發行シ定期給與金支

第九條 身元保證金ハ第六條ニ定ムル積立ノ外隨時ニ積立ヲ爲スコトヲ得

第十條 身元保證金ニ對シテハ別ニ定ムル利率ニ依リ月歩ヲ以テ全月ヲ通シタル身元保證金ノ最少殘高ニ對シ利息ヲ附ス但シ退職、死亡、待命中

ノ拂戻ノ場合ニ在リテハ拂戻金支拂通知書發行ノ前月迄之ヲ附スルモノトス尙圓位未滿ノ元金ニハ利息ヲ附セズ又計算上生ズル利息ノ厘位以下ハ切捨ツルモノトス
利息ノ計算期ハ毎年二月及八月末日トシ三月一日、九月一日附ヲ以テ之ヲ元ニ繰入ル

第十一條 身元保證金ハ在職中拂戻ヲ爲サズ但シ第十四條及別ニ定ムル場合ハ此ノ在限ニラズ

第十二條 社員退職シタル場合會社ハ其ノ身元保證金ヲ會社ノ債權ニ充當シタル殘額、債權ナキトキハ積立金額並利息ヲ本人ニ拂戻ヲ爲スモノトス

拂ノ際積立額ヲ收納シ明細書ニ傳票寫ヲ添附シテ遲滞ナク之ヲ會計課長ニ送付スベシ
十一 會計課長前號ノ明細書及傳票寫ヲ受ケタルトキハ身元保證金日計表ヲ作成シ之ヲ經理部庶務課所管日計表身元保證金勘定ト照合ノ上積立額ヲ臺帳及集計簿ニ記入スベシ
十二 定期給與金ヨリ引去リタル積立額ニ對シテハ積立者ニ對シ領收證ヲ交付セズ
十三 第九條ノ隨時積立ヲ爲サントスル者ハ隨時積立書(樣式第四號)ニ現金ヲ添附シ出納責任者ニ納付スベシ
十四 出納責任者隨時積立金ヲ受人レタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ
1 隨時積立領收證(樣式第五號)ヲ作成シ之ヲ本人ニ交付スルコト
2 收納傳票ヲ發行シ其ノ傳票寫ニ隨時積立領收證ヲ添附シ遲滞ナク之ヲ會計課長ニ送付スルコト
十五 會計課長前號ノ傳票寫及領收證寫ヲ受ケタルトキハ之ニ依リ第十一號所定ノ手續ヲ爲スベシ
十六 利率ハ社報ヲ以テ之ヲ發表ス變更ノ場合亦同

十七 會計課長利息ノ計算ヲ了シタルトキハ個人別殘高調書(樣式第六號)ニ通ヲ作成シ内一通ハ之ヲ利息ヲ元金ニ繰入ノ爲發行スル振替傳票ニ添附シ他ノ一通ハ之ヲ收支責任者ニ送付スベシ
十八 收支責任者前號ノ個人別殘高調書ヲ受ケタルトキハ各自ノ積立額及利息ヲ本人ニ通知スベシ
十九 第十一條但書ノ別ニ定ムル場合トハ昭和八年十一月總入庫八百八十號身元保證金隨時特別拂戻ノ件ヲ謂フ
二十 退職者ヲ社報ニ掲載セラレタルトキハ遲滞ナク左ノ手續ヲ爲スベシ
1 辨償金其ノ他會社ニ於テ取立ツベキ債權アルトキハ其ノ所管箇所長ハ之ガ取立要求書ヲ收支責任者ニ送付スルコト
2 收支責任者ハ辨償金其ノ他會社ニ於テ取立ツベキ債權ノ有無ヲ明記セル拂戻證明書(樣式第七號)ニ本號一ノ取立要求書ヲ添附シ之ヲ會計課長ニ送付スルコト
3 共濟通金アルトキハ總裁室福祉課長ハ之ガ取立要求書ヲ會計課長ニ送付スルコト

4 會計課長ハ本號二及三ノ取立要求書ニ依ル取立金ヲ本人ノ身元保證金ヨリ取立ツルコト

5 會計課長ハ臺帳ニ依リ利息ノ計算ヲ爲シ拂戻金支拂通知書(以下拂戻通知書ト稱ス)(様式第八號)三通ヲ作成シ内一通ハ之ヲ收支責任者ニ、他ノ一通ハ之ヲ出納責任者ニ送付スルコト

6 收支責任者拂戻通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ支拂傳票三通ヲ發行シ出納責任者ニ送付シ拂戻通知書一通ハ之ヲ本人ニ交付スルコト

二十一 拂戻通知書ノ交付ヲ受ケタル者拂戻ヲ請求スル場合ハ領收證ニ該通知書ヲ添附シテ出納責任者ニ提出スベシ領收證ニハ收支責任者ノ證印ヲ要ス但シ官公署ノ印鑑證明書ヲ添附セル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二十二 出納責任者拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ第二十號ノ五ノ拂戻通知書ト第二十號ノ六ノ支拂傳票トノ符合ヲ確メタル上支拂ヲ爲シ傳票寫一通ヲ會計課長ニ送付スベシ

二十三 會計課長第二十號ノ四ニ依リ會社債權

及共濟融通金ノ取立ヲ爲シ又ハ前號ノ支拂傳票寫ヲ受ケタルトキハ其ノ傳票寫ニ依リ第十一號ニ準ズル手續ヲ爲スベシ

第三十條 社員在職中又ハ退職後未ダ身元保證金ノ拂戻ヲ受ケザル以前ニ死亡シタルトキハ相續人又ハ遺族中會社ニ於テ適當ト認ムル者ニ對シ前條ニ準ジ之ガ拂戻ヲ爲スモノトス社員行衛不明トナリ會社ニ於テ之ヲ死亡ト看做シ取扱ヒタル場合亦同

第十四條 待命中ノ社員ハ身元保證金ノ一部又ハ全部ニ對シ拂戻ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ已ムヲ得ザル事由アリ且其ノ身元保證金ノ必要ナシト認メタルトキニ限り利息ヲ附シ身元保證金ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

二十四 待命者ヲ社報ニ掲載セラレタルトキハ遲滞ナク第二十號ノ三及四ニ依リ共濟融通金ノ取立ヲ爲スベシ

二十五 第十四條ニ依リ身元保證金ノ拂戻ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ詳具シ收支責任者經由總裁ニ申請スベシ

二十六 收支責任者前號ノ願書ヲ受ケタルトキハ願書ニ第二十號ノ二ニ定ムル拂戻證明書及取立要求書ヲ添附シ總裁室人事課長ニ送付スベシ

二十七 待命者ニ對シ身元保證金拂戻ノ承認アリタルトキハ總裁室人事課長ハ承認書ニ前號ノ拂戻證明書及取立要求書ヲ添附シ會計課長ニ送付スベシ

第十五條 會社ハ必要アリト認メタルトキハ身元保證金ノ拂戻ヲ留保スル

コトヲ得

前項ノ留保期間ニ對シテハ利息ヲ附セズ但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 退職又ハ死亡後二箇年間身元保證金ノ拂戻ヲ請求セザルトキハ會社ハ拂戻請求權者ニ對シ何等ノ手續ヲ爲サズシテ之ヲ取得ス

前項ノ年限ハ前條ニ依リ拂戻ヲ留保シタルトキハ其ノ留保ヲ解除シタル時ヨリ起算ス

第十七條 非役又ハ待命ヲ命ゼラレ若ハ兵役ニ服スル者ハ其ノ期間身元保證金ヲ積立ツルコトヲ要セズ但シ非役者ニシテ特別ノ定アル場合及勤務演習ノ爲入隊スルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 本規程ハ當分ノ間日本内地人以外ノ日給社員及月給社員ニ對シテハ之ヲ適用セズ

二十八 待命者ニ對スル身元保證金ノ拂戻手續ニ付テハ前三號ニ定ムルモノノ外第二十號ノ四乃至六第二十一號乃至第二十三號ヲ適用ス但シ一部拂戻ノ場合ハ拂戻額ニ對スル利息ノ計算ヲ爲サズ

二十九 會社ニ於テ取得シタル身元保證金ハ會計課長ニ於テ總務收入、雜收入、經歴ニ振替、整理スベシ

(様式第一號)

ヨ-2861

161×224

社員身元保證金臺帳

注意 受ハ黒書、拂ヘ赤書トス
殘高中ニハ株券額ヲ含マズ 氏名

所	
屬	

起算日	摘要	株	券	現	金	殘	高	日數	利	息	備考

(様式第二號)

社員身元保證金集計簿

(金銭出納箇所名)

昭和年	摘要	拂戻額	積立額	人員	殘	高	備考

(様式第三號)

社員身元保證金積立額完納通知書

昭和 年 月 日

收支責者

長 殿

經理部會計課長

所屬

資格

氏名

給與額

昭和年月日

積立限度

現在積立額

株

現

合計

上記社員ハ社員身元保證金積立額ヲ完納シタルニ付爾後ノ積立ヲ停止シ其ノ旨本人ニ通知セラレタシ

(様式第四號)

社員身元保證金隨時積立書

昭和 年 月 日

一金 _____ ￥ _____

所 屬 _____

氏 名 _____

注意 1 本書ハ現金ト共ニ出納責任者ニ提出セラレタシ
2 積立金額中日本數字ハ必ズ壹貳拾ヲ以テセラレタシ

(様式第五號)

社員身元保證金隨時積立領收證

一金 _____ ￥ _____

上記ノ金額社員身元保證金隨時積立金トシテ領收ス

昭和 年 月 日

所 屬 _____

股 _____

出 納
責任者 _____

(様式第六號)

社員身元保證金個人別殘高調書

氏 名	元 金		利 息	合 計
	株 券	現 金		

(様式第七號)

社員身元保證金拂戻證明書

元所屬 _____

資 格 _____ 氏 名 _____

受取人續柄氏名 _____

退職(死亡) 昭和 年 月 日

社報掲載 昭和 年 月 日

上記ノ者社員身元保證金ヨリ會社ノ取立ツベキ債權下記ノ外無之事ヲ證明ス

- 1 會社ニ對スル拂還金 2 共済貸付金 3 其ノ他取立金

昭和 年 月 日

印鑑照合

經 理 部 會 計 課 長 殿

收支責任者 _____

注 意

- 1 身元保證金ヨリ取立ツベキ債權ニ付テハ取立要求書添附スルコト
2 受取人續柄氏名ハ本人死亡ノ場合ニ限り記入スルコト

(様式第八號)

社員身元保證金拂戻金支拂通知書

身第 號 昭和 年 月 日

出納責任者

經 理 部 會 計 課 長

○ 収支責任者

株券 ¥

元所屬

現金 ¥

(社員身元保證金、社員身元保證金、經會計課)

受取人

退 職 昭和 年 月 日

利息 ¥

(利息支出、預金利息、社員身元保證金利息)

社 報 昭和 年 月 日

合計 ¥

○ 上記ノ通社員身元保證金拂戻金スベキニ付通和ス

- 1 収支責任者へ本書ニ依リ支拂傳票三通ヲ發行シ出納責任者ニ提出スルコト
- 2 受取人へ領收證(収支責任者ノ捺印ヲ要ス)ニ本書ヲ添附シ出納責任者ニ拂戻ノ請求ヲ爲スコト
- 3 出納責任者へ支拂傳票ト領收證及本書トノ符合ヲ確メタル上支拂ヲ爲シ傳票寫一通ヲ經理部會計課貯金係宛ニ送付スルコト
- 4 株券へ經理部庶務課長ニ於テ返還スルニ付領收證へ同課證券係ニ提出ノコト

○ 寄託株券事務取扱手續 (昭和十七、四、一、經會甲第一號)

寄託株券事務取扱手續左ノ通制定シ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

寄託株券事務取扱手續

第一條 大正九年十二月經會第二百六十六號ニ依リ自己名義ノ當會社發行株券ヲ會社ニ寄託シタルモノヲ寄託株券ト稱シ本手續ニ依リ整理スルモノトス

第二條 寄託株券事務ハ經理部會計課(以下管理箇所ト稱ス)ニ於テ之ヲ管理ス

第三條 管理箇所ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ寄託株券ノ出納及保管ニ當リ且第四條ノ株主印鑑一葉ヲ保管スベシ

一 臺帳(様式第一號)

二 日計簿(様式第二號)

三 總括簿(様式第三號)

第四條 株券ヲ寄託セントスル者アルトキハ管理箇所ハ株券ト共ニ株主印鑑ヲ押捺セル左記書類ヲ提出セシムベシ其ノ改印ノ場合亦同

一 株主印鑑二葉(様式第四號)

二 新株式又ハ舊株式別ニ名義書換委任狀一通(様式第五號)

三 配當金受領委任狀一通(様式第六號)

第五條 前條ニ依リ株券ヲ寄託セル者ハ寄託ト同時ニ其ノ拂込金額並當該社員ノ積立テタル身元保證金ノ限度ニ於テ當該社員ノ身元保證金ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ管理管所ハ前條ノ印鑑ヲ押捺セル受領證ヲ徴シ之ガ支拂ノ手續ヲ爲スベシ

第六條 管理箇所ハ株券寄託中ニ株金ノ徴收アリタル場合ハ當該社員ノ身元保證金ヨリ拂込ムベシ

第七條 管理箇所ハ寄託株券ノ返還請求ヲ受ケタルトキハ第四條ニ依ル届出濟株主印鑑ヲ押捺セル株券受領證（様式第七號）及株主印鑑二葉ヲ提出セシムベシ

第八條 管理箇所ハ前條ニ依リ寄託株券ノ返還請求ヲ受ケタルトキハ其ノ拂込金額ト同額ヲ當該社員ノ身元保證金ニ積立テシメタル後ニ非ザレバ之ヲ返還スルコトヲ得ズ但シ退職又ハ死亡シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 管理箇所ハ株券ノ異動アリタルトキハ寄託株券異動報告書（様式第八號）ニ株主印鑑（第四條ノ場合一葉、

第七條ノ場合二葉）ヲ添附シ東京支社經理課ニ送付スベシ但シ追加寄託ノ場合ハ株主印鑑ノ添附ヲ要セズ

第十條 東京支社經理課ハ前條寄託株券異動報告書ニ依リ株主名簿ノ異動ヲ整理スベシ

第十一條 株券寄託中ハ配當金ヨリ所定税金ヲ控除シタル殘額ヲ當該社員ノ身元保證金ニ繰入ルルモノトス

第十二條 毎年五月二十一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄及十一月十一日ヨリ十二月十日迄ノ期間寄託株券ノ異動ヲ停止ス

前項ノ外必要アリト認ムルトキハ一定ノ期間之ガ異動ヲ停止スルコトアルベシ

第十三條 株券ヲ寄託セル株主ニ對スル諸通知ハ管理箇所ニ於テ之ヲ爲スベシ但シ前項諸通知要項ハ東京支社經理課ヨリ豫メ通知スルモノトス

帳臺 (樣式第一號)

No.

(表)

寄託株主氏名

寄記號往佳所

[illegible]

(五)

[illegible]

相場	市場	舊株式
高値	東京短期	大連延
安値		
引値		

寄託株券受拂日計簿

昭和 年 月 日 (曜)

新株式	相場	密値	高値	安値	引値
市場					
東京短期					
大連延					

[illegible]

一一一一一

自昭和	至昭和	年	年	月分	月分
-----	-----	---	---	----	----

簡所省

照合者	擔當者
-----	-----

No

[illegible]

5-2935 A 5/15

(樣式第四號) 株主印鑑用紙

南滿洲鐵道株式會社		南滿洲鐵道株式會社	
印鑑		印鑑	
姓 名	住 所	姓 名	住 所
フリカナ	(勤務箇所)	フリカナ	(勤務箇所)
(取得)		(取得)	

ケ-1085 A列6長-3

(様式第五號) 名義書換委任狀

委任狀

拙者儀
一 南滿洲鐵道株式會社 株式
ヲ以テ部代理人ト定メ左ノ權限ノ事ヲ代理爲致候事
候ニ付名義書換其他之ニ關スル一切ノ件
右代理委任狀仍而如件

(姓名)

(様式第六號) 利益配當金受領委任狀

委任狀

拙者儀
一 拙者ノ所有スル
ニ對スル每期利益配當金受領ニ關スル件
一 右ニ關シ復代理人選任之件
右代理委任狀仍而如件

(姓名)

ケ-2934 A列5

ケ-8171 A列5

(様式第七號) 株券受領證

寄託株券受領證

昭和 年 月 日

南滿洲鐵道株式會社 御中

※所屬

※住所

※氏名印

南滿洲鐵道株式會社舊株券
同 上 新株券

株拂込済金額 ¥
株拂込済金額 ¥

内 譯

※合計 ¥

株主名義	株券枚數						株數
	株種	1株券	5株券	10株券	50株券	100株券	
	舊株式						
	新株式						

- 注 1 ※印ノ欄ノミ受領人ニ於テ記載スルコト
2 受領印ハ豫テ固出ノ株主印鑑ト同一ナルコト
3 受領人遺族ナル場合ハ死亡社員氏名ト受領人續柄氏名トヲ併記スルコト
4 前項ノ場合收支箇所長ハ遺族ノ受領印ニ就キ證明スルコト
上記株券正ニ受領候也 意

第 號

南滿洲鐵道株式會社

報告 報動 異券 株託 寄

會計部經理

東京支社經理課御中

昭和

月 年

日異動

取拔者

計課

[illegible]

摘要 附記已載例

新ニ寄託株主トナリタルトキ
「所」
在來寄託株主ニシテ更ニ寄託
「所」

一 所
寄託
所

一部喪失ノ場合ハ「所屬」ト「一部」ト
全部喪失ノ場合ハ「所屬」ト「全部」ト
退職ノ場合ハ「……」「住所」ト「元所屬」

退職ノ場合ハ……「住所」ト「元所屬」ト「退職」

ケ—2884 Bタリ5

○社員ノ寄託スル會社ノ株式ニ對シ貸金ヲ爲スノ件
(大正九、一二
 經會第二六六號)

(大正九、一二)
(經會第二六六號)

間中拂込金額並當該社員ノ積立テタル身元保證金額ノ限度ニ於テ貸金ヲ爲スニハハ

寄託株式ノ配當金ハ身元保證金ニ繰入ルルコトヲ要ス但シ身元保證金額ガ社員身元保證金規程第三條ノ定額ニ達シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

○社員貯金規程
(大正一五、一二
達甲第一四一號)

(大正一五、一二
達甲第一四一號)

改正	同	同	同	同	昭
一三	二	二	二	二	二
六	同	同	同	同	達
第	第	第	第	第	第
四	一	一	一	一	一
五	四	三	二	一	〇
號	號	號	號	號	號
同	同	同	同	昭	
七	五	四	三	和	
二	九	八	二	達	
同	同	同	同	甲	
第	第	第	第	第	
一	一	一	一	一	
五	七	五	七	五	
號	號	號	號	號	

社員貯金規程左ノ通定ム

社員貯金規程

第一條 社員ハ本規程ニ依リ隨時貯金ヲ爲スコトヲ得

邦貨流通地域外在勤社員ハ在勤地通貨建ヲ以テ貯金スルコトヲ得

第二條 社員ハ自己ノ家族又ハ社員ノ團體ニ代リ貯金ヲ爲ス必要ヲ生ジタル場合ニ限り所屬長ノ證ノヲ受ケ金銭出納

第四章 金錢出納 第四節 身元保證金及貯金

責任者ノ承認ヲ經テ同一人ニテ數箇ノ貯金口座ヲ有スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ會社ハ總テ同一社員ノ貯金トシテ之ヲ取扱ヒ各本人ニ對シテハ何等ノ義務ヲ負ハザルモノトス

第三條 貯金ノ預入及拂戻ノ最低單位ハ之ヲ圓位ニ止ム但シ社員ノ團體貯金ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 貯金預入者ニシテ貯金ノ拂戻ヲ受ケントスルトキハ退職又ハ死亡ニ因ル解約拂戻ノ場合ヲ除キ金一圓以上ノ貯金ヲ殘シ置クコトヲ要ス但シ社員ガ家族又ハ團體ニ代リテ爲シタル貯金ニ對シテハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 待命ヲ命ゼラルタ社員ガ貯金ノ解約拂戻ヲ受ケントスル場合ハ退職者ニ準ズ

第六條 貯金ノ預入及拂戻ハ其ノ都度通帳ヲ提示シ記入證印ヲ受クヲ要ス

第六條ノ二 前條ノ證印ハ金銭出納責任者之ヲ爲スコトヲ要ス

金銭出納責任者ハ前項證印ニ付主務者ヲシテ代行セシムルコトヲ得但シ遲滯ナク其ノ旨ヲ經理部長ニ通知シ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

主務者 ハ豫ノメ其使用スル印鑑ヲ他ノ金銭出納箇所ニ送付スベシ

第七條 貯金ヲ爲サントスル者ハ貯金ノ拂戻ヲ受クル際使用スベキ印鑑ノ届出ヲ爲スベシ其ノ改印ノ場合亦同

貯金通帳又ハ印章ヲ亡失シタルトキハ速カニ届出ノ手續ヲ爲スベシ其ノ怠リタルニ因リ生ジタル損害ニ對シテハ會社ハ其ノ責ニ任ゼズ

第八條 貯金ノ拂戻請求ニ際シ届出済ノ印鑑ヲ押捺セル受領證及通帳ヲ持參セル者ニ對シテハ會社ハ之ヲ正當受領人ト看做シ貯金ノ拂戻ヲ爲スモノトス萬一之ガ爲將來紛議ヲ生ズルモ會社ハ一切之ガ責ニ任ゼズ

第九條 貯金預入者ハ左ノ場合ニ於テ貯金管理箇所ニ再度通帳ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

一 通帳亡失シタルトキ

二 通帳毀損汚斑シテ不鮮明トナリタルトキ

三 通帳餘白ナキニ至リタルトキ

前項第一號及第二號ニ依ル再度通帳ノ請求ニ對シテハ通帳一冊ニ付料金十錢ヲ徵收ス

第十條 貯金ニハ利子ヲ附ス但シ圓位未滿ニ對シテハ利子ヲ附セズ

利子ハ月歩ヲ以テ全月ヲ通シタル貯金ノ最少殘高ニ對シ之ヲ附スルモノトス計算上生ズル利子ノ厘位ハ切捨トス利率ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 貯金預入者ガ退職又ハ死亡シタル場合ニ於テ會社ハ本人又ハ其ノ認定スル遺族ニ對シ元金ト共ニ退職又ハ死亡ノ社報登載ノ前月迄ノ利子ヲ支拂フ

第十二條 貯金管理箇所ハ必要ナル場合ニ於テ貯金預入者ニ對シ前ニ届出デタルモノト同一印鑑ノ提出ヲ要求スルコトヲ得

第十三條 貯金管理箇所ハ必要ナル場合ニ於テ貯金通帳ヲ檢閲スルコトヲ得

第十四條 五年間貯金ノ預入及拂戻ナク且利子記入又ハ檢閲ノ爲ニスル通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ貯金管理箇所ハ其ノ預入者ニ對シ通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スベキ旨ヲ催告シ其ノ催告ノ日ヨリ六十日以内ニ通帳ヲ提出セズ又ハ預入金ノ處分ヲ申出デザルトキハ其ノ貯金ハ會社ノ所有ニ歸ス

退職又ハ死亡後一箇年貯金ノ拂戻ヲ請求セザルモノノ貯金ハ何等ノ手續ヲ要セズシテ會社ノ所有ニ歸ス

第十五條 本規定ハ左ノ者ニ之ヲ準用ス

第四章 金銭出納 第四節 身元保證金及貯金

三三九

- 一 重役
- 二 特ニ經理部長ノ承認ヲ經タル者

○社員貯金取扱細則 (大正一五、一二二號) (經會乙第六七一號)

改正	昭和	三、二	經會甲第一二七號
同	同	五、五	同
同	同	一〇、六	同
同	同	九、二	同
同	同	二、九	同
同	同	八、五	同
同	同	九、九	同
同	同	五、八	同
同	同	五、八	同

社員貯金取扱細則左ノ通定ム

社員貯金取扱細則

第二條 貯金事務ノ管理區域及管理箇所ハ金錢出納區域及金錢出納箇所ト同一トス但シ撫順炭礦經理課ノ代理出納箇所金錢出納區域ノ貯金事務ハ撫順炭礦經理課ニ於テ之ヲ管理ス

第二條 管理箇所ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ常ニ管内貯金ノ出納並管理ヲ明確ニシ且印鑑綴ヲ備ヘ貯金預入者ヨリ提出シタル印鑑ヲ保管スベシ

- 一 臺帳 (樣式第一號)
- 二 日計帳 (樣式第二號)
- 三 轉換簿 (管内轉換簿樣式第三號、管外轉換簿樣式第四號)
- 四 集計簿 (樣式第五號)

第二條ノ二 社員貯金規程第六條ノ二ノ證印ハ左ノ印鑑ニ依リ之ヲ爲スベシ

- 一 出納責任者及出納責任者ニ非ザル主務者ハ届出濟ノ印鑑
- 二 驛收金ニ依リ貯金ノ受拂ヲ爲ス場合驛長及代理人ハ收支責任者トシテ届出濟ノ印鑑
- 第二條ノ三 出納責任者又ハ主務者ハ社員貯金規程第六條ノ二第一項、第二項及前條ニ準ジ左ノ各號ニ付證印ヲ爲スベシ

- 一 新規臺帳、轉換濟臺帳、轉換ヲ受ケタル臺帳、拂戻濟臺帳、(繰越年月日記入ノコト)
- 二 新規印鑑(印鑑紙ノ裏面以下同ジ)、改印印鑑、轉換ヲ受ケタル印鑑
- 三 轉換臺帳ニ添附スベキ振替傳票寫
- 四 他ノ管理箇所ノ社員ガ預入及拂戻セル現金傳票寫
- 五 臺帳ノ金額訂正箇所

第三條 現金ヲ以テ初メテ預入ヲ爲サントスル者アルトキハ管理箇所ハ左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 貯金預入者ヲシテ社員貯金預入書(樣式第六號)並印鑑ヲ提出セシムルコト但シ社員ガ家族又ハ社員ノ團體ニ代リテ貯金ノ預入ヲ爲サントスルトキハ印鑑ノ裏面ニ其ノ家族ガ自己ノ家族又ハ團體ガ社員ノミヨリ成ル旨ノ所屬長ノ證明ヲ受ケタル後管理箇所ニ提出セシムルコト
- 二 預入額ハ之ヲ臺帳並通帳ニ記入シ且通帳ニ證印シタル上之ヲ貯金預入者ニ返付スルコト爾後ノ預入金ニ對シ亦同

第四條 收支責任者ハ所屬社員中俸給、給料中ヨリ振替預入ヲ爲サントスルトキハ俸給、給料請求ノ際其ノ明細書中

振替貯金欄ノ預入額摘要欄ニ通帳番號ヲ記載シ管理箇所ニ送付スベシ通帳ハ遲滯ナク管理箇所ニ回付スルヲ要ス新
ニ預入ヲ爲スモノニ在リテハ印鑑ヲ徴シ之ヲ俵給、給料明細書(新規ト記入シ)ニ添附シテ管理箇所ニ送付スベシ
前項ニ依リ振替預入ノ請求ヲ受ケタル管理箇所ハ俵給、給料中ヨリ之ヲ引去リ臺帳ニ記入ノ上通帳ニ記入檢印シ貯
金預入者ニ返付スベシ新規ノ貯金預入者ニ對シテ通帳ヲ發行シタルトキ亦同

第四條ノ二 待命者ノ待命發令當日以前ニ屬スル諸給與金ノ貯金ハ其ノ種別及金額ヲ臺帳摘要欄ニ記入スベシ

第五條 管理箇所ハ貯金拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ受領證及通帳ヲ徴シ印鑑照合ヲ爲シタル後通帳殘高ト臺帳殘高
トヲ對照シ現金ヲ拂渡シ臺帳及通帳ニ記入シ通帳ハ證印ノ上之ヲ返付スベシ

第六條 解約拂戻ノ請求アリタル場合ハ臺帳ニ依リ元利ノ計算ヲ爲シ拂戻ノ際貯金通帳ノ上部右角ヲ剪リタル上貯金
預入者ニ之ヲ返付スベシ

第七條 管理箇所所在地外ノ驛並撫順炭礦經理課ノ代理出納箇所ハ豫メ貯金預入者ノ印鑑綴ヲ備ヘ置キ左ノ各號ニ依
リ貯金事務ノ一部ヲ取扱フコトヲ得

一 現金預入並俵給、給料ヨリ振替預入ヲ受ケタルトキハ通帳ニ預入額及殘高ヲ記入證印シタル上預入書ニ通帳面
殘高ヲ記入シ通帳ハ之ヲ本人ニ返付スルコト但シ新規預入ニ對スル通帳ハ管理箇所ニ於テ之ヲ發行スルコト

二 貯金ノ一部拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ受領證ノ印鑑照合ヲ爲シ其ノ拂戻額ガ通帳面殘高ノ範圍内ナルコトヲ
確メテ現金ヲ拂渡シ通帳ニ拂渡額及殘高ヲ記入證印シタル上受領證ニ通帳面殘高ヲ記入シ通帳ハ之ヲ本人ニ返付
スルコト

三 驛ニ於テ貯金ノ受拂ヲ爲シタルトキハ其ノ受拂額ヲ鐵道收入金納付證ニ記入シタル上預入書及受領證ハ納付證

ニ添附シ現金ハ當日ノ收入金ト共ニ之ヲ鐵道收入金收納箇所ニ送スルコト

四 代理出納箇所ニ於テ貯金ノ受拂ヲ爲シタルトキハ預入書及受領證ヲ傳票寫ニ添附シ管理箇所ニ送付スルコト

第八條 管理箇所ハ前條ニ依リ管内驛長ヨリ送付セル社員貯金預入書及受領證ニ基ツキ臺帳ニ記入スベシ

第九條 貯金預入者ガ管理箇所ヨリ印鑑提出ノ要求ヲ受ケタル際理由ナク之ヲ拒ミタルトキハ管理箇所ハ貯金ノ拂戻
ヲ拒絶スルコトアルベシ

第十條 管理箇所ハ毎日ノ預入金及拂戻金又ハ他管區ニ轉勤セル社員ノ貯金ニ對シ左ノ手續ヲ爲スベシ

一 現金傳票並振替傳票ハ共ニ決算規程施行細則第一章第一條並第二條ニ從ヒ之ヲ發行スルコト

二 現金收支ニ對シテハ傳票ニ夫々證憑書ヲ添附シ金銭出納箇所ニ送付スルコト

三 他管區ニ轉ジタル貯金預入者ニ對シテハ第一號ニ依リ振替傳票ノ外別ニ傳票寫並印鑑ヲ臺帳ニ添附シ之ヲ新管
理箇所ニ送付スルコト但シ邦貨流通地域内ニ轉ジタル邦貨流通地域外勤者ノ銀貯金殘高ハ轉勤發令當日ノ市場相
場ニ依リ金ニ換算シ金貯金ト併合ノ上轉換シ邦貨流通地域内ヨリノ轉換ハ換算ヲ用ヒズ金貯金殘高ヲ以テシ預入
者ノ希望アル場合ハ其ノ日ノ市場相場ニ依リ銀貯金ニ分割スルコト

四 前號ノ振替傳票摘要欄ニハ社報登載月日ヲ記載スベシ

五 前號ノ場合ニ於テ新管理箇所ハ替傳票ニ記載セル社報登載月日ヲ社報ニ依リ照合スベシ

第十一條 貯金預入者ハ左ノ場合ニ於テ會社所定ノ様式ノ屆書ニ所要事項ヲ記入シ届出濟ノ印鑑ヲ押捺シ(第三號ノ
場合ヲ除ク)所屬長ノ證明ヲ受ケ直チニ所管管理箇所ニ提出スベシ但シ第二號ノ場合ニハ通帳發行料ヲ納付證ニ添
附シ納付スベシ

- 一 團體ニ代リテ貯金ヲ爲セル者ガ交替セル場合(様式第七號)
- 二 貯金通帳ヲ紛失セル場合(様式第八號)

- 三 紛失、磨滅、改姓其ノ他ノ原因ニ因リ改印ヲ要スル場合(様式第九號)

第十二條 貯金者ニシテ轉勤ヲ命ゼラレタル場合ハ直チニ貯金管理箇所ヘ左ノ事項ヲ届出ツベシ

- 一 氏名及通帳番號

- 二 新舊勤務箇所

- 三 社報登載日

- 四 任他ヘノ出發日

前項ノ外貯金者ガ他ノ管理箇所ヘ臺帳轉換ノ要求アル場合ハ附替願書ニ所屬收支責任者ノ證印ヲ得テ願出ツベシ

第十三條 貯金ニ對スル利子ノ計算期ハ毎年二月及八月トシ各其ノ月末迄ノ利子ヲ積算シ之ヲ元金ニ加ヘタル後遲滞ナク左ノ手續ヲ爲スベシ

- 一 貯金預入者ニ利子記入ノ爲通帳ヲ管理箇所ニ提出スベキ旨ノ通知ヲ爲シ貯金預入者ハ其ノ通知アリタル日ヨリ一箇月以内ニ通帳ヲ管理箇所ニ提出シ利子ノ記入檢印ヲ受クベシ理由ナク之ヲ履行セザリシトキハ支拂ヲ拒絕セラルルコトアルベシ

- 二 前號ノ元加利子計算ヲ了シタルトキハ管理箇所ハ毎年二月末日、八月末日現在ノ個人別殘高調書ヲ作成シ利子

元加振替傳票ニ添附スベシ

第十四條 貯金預入者死亡シタルトキハ管理箇所ハ辭令又ハ人事課ノ通知ニ依リ會社ノ認定セル遺族ヲ確メタル上弔

慰金、退職慰勞金其ノ他ノ給與金受領ノ際使用セルト同一ノ印鑑ヲ受領證ニ調印セシメ貯金ノ拂渡ヲ爲スベシ

第十五條 (削除)

第十六條 邦貨流通地域外ノ管理箇所ニ在リテハ邦貨流通地域外勤ノ貯金預入者ニ對スル受拂ヲ本人所在地ノ通貨以外ノ貨幣ヲ以テ爲スヲ得ズ

第十六條ノ二 邦貨流通地域外管理箇所長ハ毎月末様式第十六號ニ依リ受拂月報ヲ作成ノ上換算ニ付檢印シ之ヲ五箇年間保存スベシ

第十七條 貯金預入者ガ管理箇所以外ニ於テ貯金ノ預入竝拂戻ヲ受ケンコトヲ申出デタルトキハ管理箇所ハ豫メ左ノ手續ヲ爲サシメ貯金證明書ヲ交付スベシ但シ其ノ使用ヲ了リタルカ又ハ使用ノ必要ナキニ至リタルトキハ遲滞ナク之ヲ返付セシムベシ

- 一 通帳ノ提示

- 二 貯金管理箇所ノ指定

- 三 貯金出納取扱依頼書ノ提出

貯金管理箇所ハ一時ニ數箇所ヲ指定スルコトヲ得指定ハ口頭ヲ以テ爲スヲ妨ゲズ

貯金出納取扱依頼書ハ様式第十三號ニ依ル管理箇所支給ノ用紙ヲ使用シ指定箇所ニ付一通ノ割合ヲ以テ作成セシムベシ同書記載ノ姓名ハ本人ニ自署セシメ印鑑ハ屈濟ト同一ノモノヲ押捺セシムベシ

貯金證明書ハ通帳殘高竝貯金出納取扱依頼書ノ印鑑ヲ照合シタル上貯金臺帳ニ證明書發行ノ旨竝其ノ通用期間ヲ赤書シ様式第十四號ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十八條 貯金證明書ヲ發行シタル管理箇所ハ遲滞ナク貯金出納取扱依頼書ヲ指定サレタル管理箇所ニ送付スベシ
第十九條 貯金證明書ノ通用期間ハ發行ノ日ヨニ滿三箇月ヲ超ユルコトヲ得ズ通用期間内ト雖モ證明書ノ返付アリタルトキハ其ノ返付ノ日ヲ以テ期間ノ滿了ト看做スベシ

第二十條 貯金證明書ノ通用期間内證明書ヲ發行セル管理箇所ハ預入並拂戻ヲ停止スベシ

第二十一條 貯金證明書ニ依リ貯金ノ預入並拂戻ノ請求ヲ受ケタル指定管理箇所ハ豫メ請求者ノ貯金管理箇所ヨリ送付セル貯金出納取扱依頼書ノ印鑑ニ依リ證明書記載事項並受領證又ハ預入證ノ署名捺印ヲ審査照合シタル上證明書並通帳ニ記入捺印ノ上之ヲ請求者ニ返付スベシ

第二十二條 前條ノ預入ニ對スル貯金收納傳票並拂戻ニ對スル貯金支拂傳票ハ本細則第十條ノ場合ト同ジク決算規程施行細則第一條ニ從ヒ之ヲ作成シ且之ニ貯金證明書ニ依ル受拂ナルコトヲ明記シ證明書發行箇所名ヲ科目欄ニ記載スベシ

第二十三條 第十七條ニ依ル取扱ハ管理箇所ニ於テ金錢出納責任者其ノ必要ナシト認メタルトキハ之ヲ拒絕シ又ハ取扱指定箇所數ヲ制限スベシ

第二十四條 通帳亡失ニ依ル再度通帳ノ交付ヲ爲ス場合ハ新通帳ノ番號ニ依リ臺帳並印鑑ノ番號ヲ變更シ舊通帳番號ハ「再度交付ニ依リ廢棄」ノ分トシテ留置スベシ

(様式第一號)

(様式第一號)

○ 臺 帳

所 屬	

通帳No. _____

氏名 _____

起 年	算 日	摘	要	借	方	貸	方	引 差 高	受 拂 箇 所 名	日 數	積 數

(様式第二號)

日計簿		年 月 日		氏 名		借 方		貸 方		備 考	

第四章 金錢出納 第四節 身元保證金及貯金

所屬

[illegible]

殘高欄ノ人員ハカード枚數ヲ記入スルコト

社員貯金預入書

金

¥

通帳番號.....

昭和 年 月 日

所屬

氏 名

注意 1 振替貯金以外預入＝ハ此ノ預入書ヲ使用セラレタシ
2 本預入書(所定欄ニハ明瞭ニ記入)ハ現金並預金通帳ト共ニ管理箇所ニ提出セラレタシ
3 預入金額ハ必ず壹、貳、參、拾ノ日本數字ヲ以テ記入セラレタシ

管 外 轉 換 簿

年 月 日

[illegible]

管 內 轉 換 簿

年 月 日

昭	和年	通番 帳號	舊所屬	氏名	金額	新所屬	受領印	備考

受任者變更届

昭和 年 月 日
團體名
通帳番號 第 號
舊任者氏名印
新任者所屬
新任者氏名印

殿

(様式第七號)

所屬長印

上記ノ通受任者變更ニ付届出ス
(B列6)

社員貯金通帳紛失届

昭和 年 月 日
通帳番號 第 號
所 屬
(家族團體 代表)
氏 名 印

殿

(様式第八號)

所屬長印

社員貯金通帳紛失ニ付再交付相成度
(B列6)

改印届

昭和 年 月 日
通帳番號 第 號
所 屬
(家族團體 代表)
氏 名 印

殿

(様式第九號)

所屬長印

下記理由ニ依リ別紙印鑑ノ通改印ニ付届出ス
改印理由

(B列6)

(様式第十三號)

第 號
通帳番號 第 號
所 屬
氏 名
期 間 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
取扱依頼所

昭和 年 月 日 發行

(B列5)

貯金出納取扱依頼書

第 號
貯金證明書番號 第 號
印 鑑
所 屬
氏 名
通 用 期 間 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
管 理 箇 所
取扱依頼所 御中

署名者ノ申出ニ依リ貯金出納取扱方依頼ス

注 意

- 1 此ノ貯金出納取扱依頼書ノ送付ヲ受ケタル指定箇所ニ其ノ取扱ニ關シ
貯金取扱細則第17條乃至第22條ヲ参照スベシ
- 2 本用紙へ期限經過後發行管理箇所ニ返付スベシ

○社員貯金受拂月報提出方
(昭和一一、六
經會甲第三號)

社員貯金管理箇所長ハ昭和十三年六月一日ヨリ毎月ノ貯金受拂額ヲ毎月末ニ締切り締切後十五日以内ニ左記様式ニ依リ經理部會計課長ニ報告セラレタシ

報月拂金貯員社

經理部會計課長殿

昭利 年 月 分

管理箇所長

[illegible]

注意

- 1 本月受補償額ニハ實際其月ニ取扱ヒタル貯金・受補償額轉換及元加利息ヲ含ム。①前月繰越高、本月未済高ヲ記載スルコト
 - 2 利息受補償額ニハ還額又ハ元金・元金中ニ解割繰戻シ等貯金・受補償額出金・利息・合計額ヲ記載スルコト
 - 3 各事業最少殘高合計額ニハ元金・元金中ニ各基礎ノ風位未滿ヲ含メザル最少殘高ノ合計額ヲ記載スルコト但シ無利手振團體貯金其月月中ニ轉換抽出セシ貯金(轉換受入ヲ含ム)及還額又ハ元金ニ依リ利息付リ切リ後、貯金ハ之ヲ除スルコト
 - 4 轉換額記載欄ニハ轉換抽出前轉換受人課税・借入金・借費發行前月迄ノ積數ノ合計ヲ記載スルコト (積數ノ借費發行ノ際借票發行前月迄ノ合計ヲ借票摘要欄ニ記載シ置クコト但シ還額又ハ元金ノ基礎轉換・實際ニ利息ヲ附スベキ月迄ノ合計額ヲ借票摘要欄ニ記載シ置クコト)
 - 5 各事業最少殘高合計額・轉換基礎・轉換金額・轉出轉入箇所共借票發行月迄ニ依リ計算シ計算スルコト
- ◎本月報ハ翌月15日迄ニ提出スルモノニ付計算上時ニ轉換ニ於テ翌月分ヲ含メシザルヤヲ注意スルコト

○會社設立中等學校以上學生ノ學資金及積立金ヲ社員貯金

トシテ取扱方
(昭和二、三、五
年會乙第三號)

會社中等學校以上ノ學生ノ學資金及修學旅行費積立金ヲ自今社員貯金トシテ收支スルコトトナリタルニ付之ガ取扱方左ノ通承知アリタシ

- 一 校長名ノ團體貯金トシ一校ニ付一口ニ限ル
二 利子ハ當分金百圓ニ付日歩金一錢ノ割合トス

○支拂不能ニ屬シタル社員貯金取扱方（昭和九、一一
經會甲第四號）

支拂不能ニ屬シタル社員貯金取扱方左ノ通定ム

- 一、退職又ハ死亡後一箇年貯金ノ拂戻ヲ請求セザルモノノ貯金ハ之ヲ經理部會計課ニ轉換スベシ
二、前項ノ貯金ハ社員貯金規程第十四條第二項ニ依リ經理部會計課ニ於テ之ヲ總務收入、諸口收入、雜收入ニ振替整理スベシ

○社員貯金規程第十五條第二項準用者ノ退職又ハ死亡通報

ニ關スル件 (昭和九、
經會貯三三第一號九八)

社員貯金規程第十五條第二項ニ依リ社員貯金規程ノ準用ヲ承認セラレタル者ガ退職又ハ死亡シタル場合ハ其ノ年月日ヲ所屬長ヨリ遲滯ナク當該貯金事務管理箇所ニ通報セラレタシ

○廢止ノ社員貯金通帳處理方 (昭和五、 社報第六九一九號)

- 社員貯金取扱細則中改正ニ伴ナヒ自今廢止ノ社員貯金通帳ハ左ニ依リ處理セラレタシ
- 從來保管ノ廢止通帳ハ上部右角(表紙共縱橫四纏)ヲ適宜剪取り貯金者ヘ返付スルコト
- 貯金者行方不明ニシテ交付不能ノ分ハ貯金通帳番號、所屬及氏名ヲ記錄ノ上燒却スルコト
- 貯金ヲ受取延期金ト爲シタル者ノ貯金通帳ハ經理部會計課ヨリ返送ヲ受ケタル上貯金者ニ返付スルコト

○退職社員受取延期金規程 (大正一五、七、 達甲第六八號)

改正 大正二五、一、二達甲第二二六號 昭和二、八達甲第六三號
同和 一五、一、四同第一一八號 同七、八同第二六號
一五、一、〇同第一六八號

退職社員受取延期金規程左ノ通定ム

退職社員受取延期金規程

第一條 社員ハ退職ノ際會社ヨリ受取ルベキ社員身元保證金、社員貯金及其ノ他ノ諸給與金並會社ヨリ支給セラレタル退職慰勞金等ノ全部又ハ一部ニ限リ會社ノ許可ヲ得テ本規程ニ依リ受取延期金トシテ之ヲ存置スルコトヲ得但シ該金額ハ百圓ヲ以テ單位ト爲ス

第二條 本存置金ノ存置期間ハ存置後第一回利子計算日ヨリ起算シ五年トシ中途其ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ受クルコトヲ得

當初存置ヲ許可セラレタル者ガ前項ノ存置期間滿了前ニ死亡シタルトキハ其ノ第三條ニ依ル受取人ガ會社ノ適當ト認定シタル遺族ナル場合ニ限リ存置期間ノ殘存期間ヲ限度トシテ引續ギ之ガ存置ヲ許可スルコトヲ得

第二條ノ二 前條ノ存置期間經過後存置者ノ申出ニ依リ更ニ引續キ五年以内ヲ限リ存置期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三條 存置者ハ自己ノ使用スベキ印鑑、通知ヲ受クベキ場所及其ノ死亡シタル場合ニ於ケル受取人ヲ定メ豫メ之ヲ會社ニ届出デ置クベシ變更アリタルトキ亦同

前項ノ届出ヲ怠リタル爲ニ生ジタル損失ニ付テハ會社ハ其ノ責ニ任ゼズ

第四條 本元金ニハ利子ヲ附ス計算上生ズル厘位ハ切捨トス

利率ハ別ニ之ヲ定メ變更ノ都度存置者ニ通知ス

第一項ノ利子ハ毎利子計算日ノ翌日ヨリ之ヲ存置者ニ拂戻スモノトス
會社ガ存置者ノ要求ニ依リ利子計算日ノ翌日以外ノ時ニ於テ元金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲ス場合ハ之ニ對シ第二項ニ依ル所定利率ノ二分ノ一以内ノ利子ヲ附スルモノトス

第五條 本元金ノ利子計算日ハ毎年二月末日及八月末日トス

第六條 存置者死亡シタルトキハ第二條第二項及第二條ノ二第二項ニ依リ繼續存置ヲ許可セラレタル場合ヲ除キ死亡

當日ヨリ九十日ヲ限り拂戻ノ前日迄第四條第二項ノ利率ニ依リ利子ヲ附スルモノトス
第七條 存置者死亡シタルトキハ第二條第二項及第二條ノ二第二項ニ依リ繼續存置ヲ許可セラレタル場合ヲ除キ會社

ハ第三條ニ依リ受取人ノ請求ニ依リ元金並利子ノ拂戻ヲ爲スモノトス
存置者及第三條ニ依リ受取人共ニ死亡シタルトキハ會社ハ存置者又ハ受取人ノ遺族中適當ト認ムル者又ハ存置者ノ

相續人若ハ受取人ノ相續人中會社ノ適當ト認ムル者ニ之ガ拂戻ヲ爲スモノトス
第八條 存置者、其ノ死亡ノ際ノ受取人及其ノ他ノ存置金受領者ハ會社ノ要求ニ應ジ何時ニテモ戸籍謄本其ノ他ノ書

類ヲ提出スベシ

第九條 本元金ニハ預リ證書ヲ發行ス

存置者ハ左ノ場合ニ於テ會社ノ再度預リ證書ノ交付ヲ求ムルコトヲ得但シ左ノ第一號ノ場合ニ於テハ預リ證書再發行後一箇月間元金並利子ノ支拂ヲ停止スルモノトス

一 預リ證書ヲ亡失シタルトキ

二 預リ證書ガ汚損シテ不判明トナリタルトキ

第十條 存置者ガ預リ證書ヲ亡失シタルトキハ直チニ其ノ旨經理部會計課ニ届出ヅベシ之ヲ怠リタル爲生ズル損失ハ會社之ガ責ニ任ゼス

第十一條 受取延期金又ハ其ノ利子ノ拂戻請求アリタル場合會社ハ届出済ノ印鑑ヲ押捺シタル受領證及預リ證書ノ持參人ヲ正當受領人ト看做シ之ガ支拂ニ關シ將來紛議ヲ生ズルモ一切之ガ責ニ任ゼズ

第十二條 受取延期金ハ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ズ

第十三條 會社ハ何時タリトモ會社ノ都合ニ依リ二箇月前ノ豫告ヲ以テ元金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

第十四條 在職中死亡シタル社員ノ遺族ニシテ會社ニ於テ適當ト認メタル者ニ對シテハ本規程ヲ準用スルコトヲ得
前項ニ依リ存置者未成年者ナルトキハ本規程ニ依リ存置者ノ爲スベキ行爲ハ其ノ法定代理人ニ依リ之ヲ爲スベシ

○退職社員受取延期金取扱細則 (大正一五、七 經會乙第一六八號)

改正 昭和二、八經會乙第一號 昭和五、四經會甲第一號
同五、一〇經會甲第六號 同七、八同第二號

退職社員受取延期金取扱細則左ノ通制定ス

退職社員受取延期金取扱細則

第一條 受取延期金ハ經理部會計課ニ於テ之ヲ管理ス

第二條 收支責任者ハ總裁室人事課長ヨリ退職者ノ退職慰勞金其ノ他ノ給與金通知書ヲ受理セルトキハ本人ニ就キ受取延期金ノ存置ヲ確メタル上給與金支拂傳票ニ延期金存置ノ旨ヲ明記シ之ヲ所轄金銭出納箇所ニ提出スベシ
前項ノ場合存置者ハ社員身元保證金、社員貯金等ノ受領證其ノ他ノ關係書類ト共ニ受取延期金願並印鑑ヲ提出スベシ

第三條 受取延期金願並印鑑用紙ニハ左ノ事項ヲ記入ノ上調印スベシ

一 受取延期金願ニハ存置金額、存置金ノ内容區別、元所屬、氏名、通知ヲ受クベキ場所、死亡シタル場合ニ於ケル受取人ノ氏名、職務死亡者又ハ職務傷病退職者ハ其ノ事項

二 印鑑用紙ノ表面ニ存置者ノ氏名、其ノ右側ニ通知ヲ受クベキ場所
第三條ノ二 總裁室人事課長ハ職務死亡者又ハ職務傷病退職者ノ所屬、氏名並死亡又ハ退職年月日ヲ其ノ都度經理部會計課長ニ通知スベシ

第四條 待命者ガ社員貯金ヲ受取延期セントスルトキハ待命發令當日現在高ヲ超過シテ存置スルコトヲ得ズ但シ待命ニ伴ナフ諸給與金ニシテ待命發令當日以後ニ貯金シタルモノニ就テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 十周年賞與金預金、共濟年功金等ヲ受取延期金ト爲サントスル者アルトキハ所轄金銭出納箇所長ハ夫々經理部會計課並總裁室人事課ニ照會ノ上之ガ支拂委託ヲ受ケタル後存置手續ヲ爲スベシ

第六條 各金銭出納箇所長ハ受取延期金ヲ存置セントスル者ノ提出セル各書類ヲ受理シタル上左ノ手續ヲ爲スベシ

一 支拂金ハ全部支拂手續ヲ執ルト同時ニ存置金ニ對シテハ收納手續ヲ執リテ現金ノ授受ヲ爲サザルコト

二 收納傳票寫(特ニ出納責任者ノ調印ヲ要ス)ニ願書、印鑑、社員貯金臺帳、通帳及身元保證金臺帳ヲ添附シ經理部會計課ニ送付スベシ

第七條 經理部會計課長ハ各金銭出納箇所ヨリ提出セル受取延期金願、收納傳票寫及添附書類ヲ照合審査ノ上預リ證書ヲ發行シ社員貯金臺帳、通帳及身元保證金臺帳ト共ニ之ヲ當該金銭出納箇所長ニ送付スベシ

第八條 各金銭出納箇所ハ經理部會計課ヨリ預リ證書ノ到著シタルトキハ曩ニ發行ノ假受領證ト引替ニ預リ證書ヲ本人ニ交付シ假受領證ハ之ヲ經理部會計課ニ送付スベシ

第九條 存置者ノ改印、轉居及死亡ノ際ノ受取人ノ變更届(様式第一號、第二號及第三號)ハ之ヲ經理部會計課ニ提出スベシ但シ改印ノ場合ハ改印ノ届出後一箇月間元金並利子ノ支拂ヲ停止スルモノトス

一 轉居届、死亡ノ際ノ受取人ノ變更届ニハ届出濟ノ印鑑ヲ押捺スベシ

二 轉居届ニハ居住地ノ官公署ノ居住證明書(寄留簿寫)ヲ、改印届ニハ印鑑證明ヲ添附スベシ

第十條 經理部會計課ハ二月末日及八月末日ニ利子ヲ計算シ之ヲ存置者ニ通知シ存置者ヲシテ受領證ニ通知ヲ受クベキ場所並氏名ヲ記入調印セシメタル上支拂ノ手續ヲ爲スベシ

第十一條 存置者ガ受取延期金及其ノ利子ノ支拂ヲ受ケントスルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ但シ第三號ノ手續ハ經理部會計課長ノ認定ニ依リ之ヲ省略スルコトアルベシ

一 元金ノ場合ハ受領證ニ届出濟ノ印鑑ヲ押捺シ之ニ預リ證書ヲ添附シ經理部會計課ニ提出スベシ

二 利子ノ場合ハ受領證ニ届出濟ノ印鑑ヲ押捺シ經理部會計課ニ提出スベシ但シ經理部會計課ニ於テ直接支拂ヲ受ケントスルトキハ預リ證書ヲ添附スベシ

三 存置金ノ全額又ハ殘額全部ヲ請求セントスルトキハ第一號ノ書類ニ存置者ノ戶籍謄本ヲ添附スベシ

第十二條 存置者死亡セル場合ニ於テ規程第三條ノ受取人ニシテ規程第二條第二項及第二條ノ二第二項ニ依リ引續キ存置期間中存置ヲ爲サントスル者ハ存置死亡後九十日以内ニ經理部會計課ニ左ノ書類ヲ提出スベシ

一 名義變更願(様式第四號)

二 戶籍謄本

三 印鑑證明

四 居住證明書

五 預リ證書

經理部會計課長ハ前各號ノ書類ヲ査閲シ名義變更ヲ許可セル場合ハ新ニ預リ證書ヲ發行スルモノトス

第十三條 存置者、受取人及存置者相續人ノ代理人ガ各種ノ請求ヲ爲サントスルトキハ本人ノ委任狀ヲ差出シ且記名

捺印ヲ要スル書類ニハ代理人タル肩書ヲ附シ記名捺印スベシ

第十四條 存置者死亡セル場合當初第三條ノ受取人又ハ規程第七條第二項該當者ガ受取延期金及其ノ利子ノ拂戻ヲ受ケントスル場合ニハ遲滞ナク經理部會計課ニ左ノ書類ヲ提出スベシ

一 戶籍謄本

二 預り證書

三 受領證二通(元金並利子)

四 印鑑證明

第十五條 規程第十四條ニ依リ未成年者ガ法定代理人ト連署シ又ハ法定代理人ガ未成年者ニ代リテ受取延期金ヲ存置セントスルトキハ受取延期金願ニ本人ノ戶籍謄本並印鑑及法定代理人ノ印鑑並印鑑證明ヲ添附スベシ

(樣式第一號)

改 印 届

私儀今般別紙印鑑用紙ノ通改印仕候ニ付印鑑證明ヲ添附シ此段及御届候也

一 受取延期金預り證書番號第 號

一 改印理由

年 月 日

住 所

氏 名 印

南滿洲鐵道株式會社

經理部會計課長殿

(樣式第二號)

轉 居 届

私儀今般左ノ所ニ轉居仕候間此段居住證明ヲ添附シ及御届候也

一 前住所

一 現住所

一 受取延期金預り證書番號第 號

年 月 日

氏 名 印

南滿洲鐵道株式會社

經理部會計課長殿

(樣式第三號)

死亡ノ際ノ受取人變更届

私儀今般受取延期金ノ死亡ノ際ノ受取人ヲ左ノ通變更仕候ニ付此段及御届候也

一 舊死亡ノ際ノ受取人

一 新死亡ノ際ノ受取人

一 受取延期金預り證書番號第 號

年 月 日

住 所

第四章 金錢出納 第四節 身元保證金及貯金

南滿洲鐵道株式會社

經理部會計課長殿

(様式第四號)

存置者名義變更願

今般受取延期金存置者何某死去セシニ付私名義ニ御變更相成度戸籍謄本、印鑑證明、居住證明書、預リ證書(第號)添附ノ上此段及御願候也

一 舊存置者トノ續柄

二 新存置者死去ノ際ノ受取人

年 月 日

住 所

氏

名 印

南滿洲鐵道株式會社

經理部會計課長殿

○退職社員受取延期金利率

(昭和二、經會乙第八四九號)

改正 昭和五、一二經會甲第一三號 昭和七、八經會甲第二號

退職社員受取延期金規程第四條及第十三條ニ依ル利率ヲ左ノ通定ム

一 第四條第二項ニ依ル第一回利子計算日迄ノ利子金百圓ニ對シ日歩金一錢七厘トス但シ職務傷病(傷病等級三等以上)ニ因ル退職者、職務死亡者ノ遺族並前記兩者ノ死亡シタル場合ノ受取人ノ存置金額ニ對スル利率ハ金百圓ニ對シ日歩金二錢二厘トス

二 第四條第二項ニ依ル第一回利子計算日後ノ利子年六歩五厘トス但シ職務傷病(傷病等級三等以上)ニ因ル退職者、職務死亡者ノ遺族並前記兩者ノ死亡シタル場合ノ受取人ノ存置金額ニ對スル利率ハ年八歩四厘トス

三 第四條第四項ニ依ル利子金百圓ニ對シ日歩金五厘トス但シ職務傷病(傷病等級三等以上)ニ因ル退職者、職務死亡者ノ遺族並前記兩者ノ死亡シタル場合ノ受取人ノ存置金額拂戻ニ對スル利率ハ金百圓ニ對シ日歩金一錢トス

四 第十三條ニ依ル利子第一號及第二號ニ同

